



ストーマ造設術が思春期の子どもや家族に与える影響

ストーマ造設術は、思春期のお子さんと家族の双方に大きな影響を与えます。家族全員が日常生活の変化を経験し、その変化による影響は計り知れません。

この記事は、小児のストーマケアの国際的ベストプラクティスガイドラインをもとにまとめられた連載シリーズの2回目になります¹。今回は、ストーマ造設術が思春期のお子さんや家族にどのような影響を与えるのか、そしてそのような患者のニーズに対応するためのケア方法についてご紹介します。

「小児のストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的なベストプラクティス (Paediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers)」をご紹介します。

小児のストーマケアはまだエビデンスが少ない分野であり、文献や研究報告があまりありません。この分野の詳しい情報を提供するため、小児ストーマケア専門家の国際的なグループである世界小児ストーマ認定看護師諮問会議 (Global Paediatric Stoma Nurses Advisory Board, GPSNAB) が医療従事者向けの国際的なガイドラインを作成しました。このガイドラインは、ストーマ造設の必要性やストーマ造設術による精神的影響への対処まで、小児のストーマケアのあらゆる領域を網羅しています。ガイドラインは [Coloplast Professional](#) に掲載されています。

思春期

この発達段階の特徴

思春期の特徴は、この年代が自立と独立を追い求める時期だという点にあります。この年代の子ども達は外見を強く気にし、自分の性的な関心を理解し始めています。

ストーマ造設術の精神的影響

思春期にストーマを造設することは自尊心を喪失してしまう可能性があります。特にボディイメージや衛生面、外見に重点が置かれる社会ではなおさらです。ストーマを保有する生活に対応しなければならないだけでなく、思春期の子どもは、身体的、性的、精神的、そして社会的な影響に対しても対応する必要があります。

以下では、これらの個々が抱える不安や、思春期の子どもへのこれらの不安にどのように対処するのかについてご紹介します。

- 身体的な不安

思春期の子ども達がストーマを造設する原因で最も多いのは、炎症性腸疾患 (IBD) です。手術後、思春期の子ども達は急速に成長し性的な成熟を経験します。既に性的に成熟している思春期の子ども達は、疾患の急性期には成長過程が退行する場合があります。思春期の女兒では乳房が発達しなくなり、男児では筋力の低下が起こることがあります。

¹ Paediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers. Published in December 2018

- 性に関する不安

ストーマを保有する思春期の子どもたちは、自分のストーマを受けられるかどうかをとっても考えます。新しいボディイメージをなかなか受け付けられず、性的な魅力を失ったと感じる場合も少なくありません。また、性的な能力が変わってしまったと不安を抱いている場合もあるでしょう。中には、こういった不安を否定したり、性行為の話題を避けたり、自分を性的な存在として捉えられることを拒絶してしまう場合があります。また、自分にまだ性的な魅力があることを確かめるためだけに、性的な接触やスキンシップを求めようとするケースもあるのです。

- 精神的な不安

精神的な影響は、思春期の子ども達のストーマ造設を取り巻く状況によって異なります。ストーマが一時的なものであれば、永久的なストーマを造設する場合よりも比較的容易に順応する傾向があります。感情的な反応は、怒りや悲しみ、絶望から否定まで様々です。思春期の子ども達の中には、排泄機能をコントロールできなくなることを否定したり、できないことを必要以上にしてみようと試みたり、ストーマを保有していないかのように振る舞うケースもあるでしょう。こういったことは、自分の独立心をあらためて主張し、このような状況に逆らうための一つの手段なのかもしれません。これらはすべて、思春期の経験の一部なのです。

- 社会的な不安

ストーマ造設術は、思春期の子ども達の家族やそれ以外の社会との関わりに影響を及ぼします。家族の中では、自分が他の人とは違うと感じたり、拒絶されることを恐れたりする可能性があります。自分は家族にとって重荷であり、自分には価値がないと感じている場合もあるかもしれません。一歩家を出れば、ストーマを保有する思春期の子どもは、周りの人の反応をとっても気にします。他人に自分の病気について話すかどうか葛藤し、裏切られて仲間外れにされることに不安を抱いたりします。こういった子ども達は病気や手術によって、学校を何日も休まなければならない、さらに孤独感や見捨てられたという気持ちを募らせてしまう可能性があります。

- 親への影響

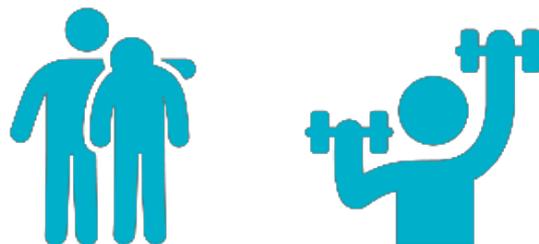
病気の子どもの持つ親は、時折子どもに過保護になることがあります。クローン病や潰瘍性大腸炎の思春期の子どもを持つ親は、多くの場合、病気を抱えた子どもとたくさんの時間を過ごしています。そ

のため、ストーマを保有した時に、親の方が息子や娘をなかなか自立させられなくなってしまうのです。また、思春期の子どもの自立を過度に促す親もいます。

- 看護師の関わり方

思春期の子どもに対して、知識の共有とコミュニケーションがとても重要です。手術前には、手術や検査、ストーマに関する情報について段階を追って説明します。術後の受容過程についても共有しましょう。視覚的な資料を活用しながら、概要や理論を説明することで、子ども達が自分の状態をより理解しやすくなります。

ストーマを保有する思春期の子どもには、頼れる人や自分を批判しない人、何が起きているのかを理解するために必要な時間を与えてくれる人が必要です。その相手は看護師であるかもしれませんが、精神的なサポートは看護師の重要な役割の一つですが、自分の限界をきちんと認識し、思春期の子どもが不安や抑うつ徴候を示した時には心理学の専門家に紹介するなどの判断が必要です。



ストーマを保有する思春期の子どものケアには、忍耐力と寄り添える余裕、そして彼らの適応能力を尊重する気持ちが必要です。時々見せる彼らの態度や行動に惑わされることなく、決めつけずに、彼らのあるがままの姿を受け入れなければなりません。何よりも、彼らが新しい状況に適応する手助けをするとともに、信頼でき、快適で、外見的に目立たず、安全なストーマ装具を選択することが大切です。

「思春期とはたいがい、混乱の時期である。無法地帯のようなもの一つまり、あからさまな反抗と否定主義で区切られた、人生の一時期と場所だと考える人も多い。事実、そういった10代の子どもがはっきりと示しているのは、合理的に説明のつく身体的、精神的な成長の痛み以外の何ものでもないことが多い」
- Katherine Jeter, 1982

ストーマを保有する思春期の子ども達へのケア

すべきこととは？	その方法は？
批判的にならずに、理解しようと努めること	思春期の子ども達と会う前に、その年齢と成熟度を十分に把握しておきましょう。この時期の子ども達はいろいろな感情を伴った反応を示す可能性があることを忘れないでください。相手の感情を理解していることを伝え、自分の言葉で表現するよう促しましょう。
彼らの親密な交友関係を尊重し、性的関心の問題に対処すること	彼らと避妊法や避妊具の問題について話し合うことが重要です。思春期の子ども達と率直な信頼関係を築くことができれば、こういったデリケートな内容について話し合い、彼らが前向きにポディメージを維持できるようサポートします。
他人の反応を理解し、対処できるようにすること	思春期の子どもは、親がなぜそのような反応を示すのか、常に理解できているとは限りません。どうして過保護になったり、突き放すような態度を取るのかを説明してあげることで、親の行動を読み解くことができるようになります。思春期の子どもは、自分の身に起きていることを仲間と共有したいと感じる時があります。思春期の子ども達と、どの程度まで率直に打ち明けるかを考えるとともに、その場合に起こりうる様々な反応への心構えをしてもらいましょう。信頼して秘密を打ち明けられる友達を慎重に選ぶよう提案してみてください。
思春期の子ども達のニーズを認識すること	ストーマを保有する思春期の子どもは、このような病気を抱えているのは自分だけだと感じているかもしれません。ストーマを保有している他の思春期の子ども達を紹介してあげることが重要です。不安を打ち明け、アイデアを交換できるネットワークができます。ストーマとうまく付き合っている同じ年代の子ども達と出会うことは、子ども達の希望になります。希望を持つことこそ、スムーズに受容過程を経過することにつながります。
抑うつや不安の徴候に注意すること	看護師は思春期の子ども達が信頼して秘密を打ち明けられる相手になるかもしれません。不安や抑うつの徴候に常に気を配り、必要に応じて心理学的な診察が受けられる体制を整えておくことが重要です。
ストーマのある生活を過ごしていく方法を考えられるようにすること	思春期は、子どもたちが将来の夢や目標を考え始める時期です。看護師の役割は、このような子ども達が自分の能力と限界を考慮した現実的な目標を立てられるようにすることです。限界を否定したり、過度に誇張して考えるといった落とし穴に陥らないようにアドバイスします。少し先の将来を見据えて、現実的な目標を立てるには、思春期の患者さんが自分の将来を現実的に考える助けにもなります。

ストーマ造設術が小児に及ぼす精神的な影響について詳しく知りたい場合は、本シリーズ 1 回目の記事をご覧ください。

小児科学におけるストーマケアや教育に関する実践的なヒントやガイドラインは、「小児のストーマケア：新生児、幼児、児童に対する国際的なベストプラクティス（*Paediatric stoma care: Global best practice guidelines for neonates, children and teenagers*）」を参照してください。[Coloplast Professional](#) からダウンロードできます。